

🔾 地域おこし協力隊員を活用した1村1広域活動組織の事務負担軽減

まつかわむら 松川村すずむしの里保全組織委員会(長野県松川村)

- 松川村は長野県の北西部に位置し、信州安曇野の豊かな歴史と文化、四季折々の自然環境に恵ま れた農村地帯であり、村では地産地消、食育活動、育成会活動に取り組んできた。
- 基幹産業である農業の振興を通じて地域を守り、豊かな農村環境を子供達の世代に引き継ぐため、 平成19年度から「農地・水・環境保全向上対策」に取り組む。(H19:10組織→H29:20組織)
- 事務作業の多様化及び各組織の事務担当者の高齢化が進んだため、代表者会議で活動組織の広域 化による事務負担の軽減を検討。広域活動組織の事務と地域活性化の取組を支援する『地域おこ し協力隊員』を募集し、平成28年度に1村1広域活動組織への統合を実現。

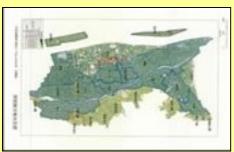
取組内容

【統合前(H19~H27)】

○ 各組織(集落)が個々に活動を実施

【広域活動組織への統合後(H28~)】

- 〇 運用の統一化の調整が難しい農地維持活 動、共同活動は引き続き検討することとし、長 寿命化の活動を先行して、平成28年度から全 組織(H28は19組織)の年間交付金額を一括 運用するため、広域活動組織化
- 広域活動組織の事務は、H27に募集、H28 から採用した地域おこし協力隊員が支援 (村の経済課に配置)



広域活動組織の活動計画図

【地区概要】

•取組面積 954.3ha

•資源量 水路150.2km、農道95.9km

- (田851.9ha、畑83.5ha、草地0ha)
- 主な構成員 農業者、非農業者、 営農組合、JA、土地改良区等
- 交付金 約69百万円(H29)

農地維持支払 資源向上支払(共同、長寿命化)

取組の効果

- 〇 農業者には馴染みのない、長寿命化対策 の契約手続き等の事務を事務局(地域おこし 協力隊員)がカバーすることで、各組織(集 落)の事務負担が大幅に軽減
- 各組織(集落)の、平成28年度以降の5年 間の長寿命化対象施設リストづくりと着工順 位付けを実施。地域の合意が得られたことで、 必要な改修を優先度に応じて計画的かつ効 率的に実施することが可能となった
- 〇 地域おこし協力隊員の活用により、①地域 にとっては、広域活動組織の事務の引き受け 手の確保、②協力隊員にとっては、関心を 持っていた農業農村振興に携わり、しかも地 域の多くのキーパーソンと交流を深め、頼っ てもらえるようになるなど、双方にメリット





優先順位の高い箇所から長寿命化を実施

活動開始前の状況や課題

- 松川村は、基幹産業である農業の振興を 通じて地域を守り、安曇野の豊かな農村環境 を子供達の世代に伝えることが重要な課題
- 農業者の高齢化が進み、集落が従来どお りの地域資源保全活動を継続できるのか不 安を感じる人が増加
- 農地・水・環境保全向上対策に取り組むこ とにより、①高齢農業者に代わる地域資源の 保全管理体制の整備、②農家収入の増加、 ③安曇野市・松本市のベットタウンとして増加 する非農業者の農村に対する関心向上など を期待



松川村の景観